

た ま が わ

分会全組合員が“行動”に参加

～ 集まることの大切さを再確認 ～

10月20日と22日、分会組合員全員が参加した二つの取り組みについて報告します。

10月20日(水)エデュカス東京にて開かれた本部オルグに分会組合員が全員出席しました。

秋のたたかいのスタートに際し、4つの重点的なとりくみについて道家本部書記長が話され、小林東京地協議長から具体的な行動が提起されました。また、再建を果たしたあいおい支部の佐野さんから現況報告がおこなわれ、あらためて全損保全体であいおい支部を支えていくことを確認しました。

様々な不安や歪みが拡大している損保の職場ですが、今回のオルグには各支部から“新しい顔ぶれ”が目立ちました。若い組合員が全損保の運動にふれ、職場の枠をこえてつながることは、激変情勢の今だからこそ必要なことだと感じました。

10月22日(金)第41回金融3争議共同行動・全労連争議支援総行動に分会組合員が全員参加しました。

8時のプルデンシャル前でのピラマキからスタートして、18時25分の明治ホールディングスまで、秋空の下一日行動をおこないました。

ほとんどの争議が、解雇された労働者が少人数でたたかっていました。多くの方にご支援いただいた私たちのたたかいが、いかに恵まれていたものなのか、あらためて実感しました。

争議支援の移動中は、まごころ各支店の職場状況などの近況報告や情報交換の場となりました。今後の組合活動でも、行動に参加することで、“組合員が集まること”、“かたまること”が大切だと感じました。